

QPI

を知っていますか？

QPIの信念

すべての子どもが、

安全で安心できる家庭で育つことが大切です。

里親制度の主な目的は、子どもや若者が常に安全で安心を感じながら育つことができるように、発達やアタッチメント、トラウマに関する知見に基づいた関わりを通じて、養育者との良い関係を築くことにあります。養育者との良い関係は、まわりや社会を支援する元となります。そのためには、里親自身が学びを深めるとともに、必要に応じて支援を受けられる体制が重要です。そして関係者との対等なチームの一員としてパートナーシップを築くことを大切にしています。QPI は、特別なプログラムではなく、里親のあるべき姿勢や役割を示す考え方です。

QPIアプローチの主要要素

- 関係者から里親への期待、里親から関係者への期待を整理し、明確化する。
- すべてのスタッフや里親、関係者、一般の人々に、それぞれの期待をわかりやすく伝える。
- 実践が、それぞれの期待に応える形で行われるよう取り組む。

私たちが考える 里親の在り方

里親は、社会的養護を必要とする子どもを自身の家庭に迎え入れ、実親と協働しながら、子どもを社会的に育てていくという非常に重要な役割を担っています。その役割にふさわしい社会的地位の向上が必要です。

1. 里親は、子どもを理解するために学びを大切にするとともに、子どもから学ぶ姿勢を持つことが重要です。
2. 実親さんを尊重し、必要に応じて実親さんや児童相談所などと連携・協働しながら、実親さんの子育てを支援します。
3. 里親は、実親さんや児童相談所、里親支援センター、フォスティング機関と協力・連携（パートナーシップ）しながら、子どもを中心に据えた養育を行う必要があります。
4. 里親同士のつながりを大切にし、困りごとは一人で抱えず、気持ちを分かち合い、みんなで力を合わせて乗り越えます。

QPIが生み出す変化

子どもや実親のニーズに寄り添い、あたたかく優しく接する里親が増えています。

そのような里親のもとで子どもや若者が育ち、実親が支援を受けることで、子ども・若者、そして実親の幸せへとつながっていきます。

1. 地位向上

里親による養育が社会的に価値あるものとして認識されることにより、里親もチームの一員として対等に扱われ、その意見が尊重される関係性が築かれます。

2. パートナーシップ

実親や里親は、児童相談所の職員やその他の関係者とチームを組み、子どものニーズに応じた養育について共通の認識を持ち社会的にもパートナーシップの関係を築きます。

3. 学びと実親支援

里親は、子どもや実親さんと協力しながら、自らに期待されている役割を理解し、必要な支援を受けること、またトレーニングを受けることができます。

4. ピアサポート

里親同士で良い関係を創りあげ、良い気持ちも大変な気持ちも分かち合い、里親を続けていけるようになります。

QPI発足の背景

QPI (Quality Parenting Initiative) は、アメリカの弁護士キャロル・シャウファー (Carole Shauffer) 氏によって創設された、里親制度の改革を目指す全国的な運動です。

この活動は、州・郡・民間団体からなるネットワークによって構成されており、里親制度のもとで暮らすすべての子どもたちが、健やかに成長できるよう、質の高い子育てと持続的な関係を築くことを目指しています。

QPI は、子どもが癒され、健やかに成長するためには、信頼に基づいた良好な関係のもとで、質の高い子育てがなされることが何よりも重要であるという信念に基づいています。

このような質の高い子育てを保証する仕組みを実現するには、実親や親族、里親、若者、そして児童福祉制度に関わるすべての人々の支援と関与が不可欠です。

家庭養育支援機構について

特定非営利活動法人家庭養育支援機構では、里親が関係機関とパートナーシップを組んで子育てを行うことを支援するため、「QPI ジャパン」を設立しました。

里親を「パートナー・ペアレンツ」と位置づけ、新しい里親の在り方を、全国の里親や自治体とともに推進していく準備を進めています。

お問い合わせ

NPO法人家庭養育支援機構（担当：社会福祉法人麦の子会）

E-Mail : qpi@muginoko.com



家庭養育支援機構